

【件 名】	亀島川水門場内整備工事	【事務所名】	江東治水事務所	
【工事場所】	東京都中央区新川二丁目地内から同区湊一丁目地内まで	【受注者名】	シンコー・テクノ株式会社	
【工 期】	令和7年3月17日から令和8年3月24日まで	【主たる技術者名】	現場代理人 志賀 成 監理技術者 千田 勝幸	

【工事概要】

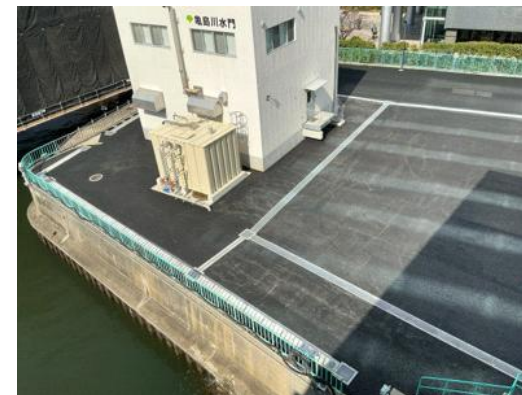
本工事は、将来にわたって考えられる最大級の地震が発生した場合においても水門等の機能を保持し浸水被害などを防ぐことを目的とした耐震・耐水対策工事完了後に、旧排水機場基礎部分の撤去及び施設の整備工事を行ったものである。

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は地下構造物により地上部の平場が少ない狭隘な現場状況であったが、仮囲いと安全通路を組合せる等の工夫を行い、限られた面積を有効活用して施工した。また過去に苦情が頻発している現場であったが、定期的に工程や施工内容をお知らせし、苦情発生時にも迅速に苦情者住居の屋上で騒音調査を実施できるよう調整を行い、苦情者の理解を得た上で円滑に工事を進め、工期への影響を最小限に留めた。さらに、パワーアシストスーツを採用して人力運搬の効率化・負担軽減をするなど新技術の活用に加え、ICT施工、遠隔臨場、HTTゼロエミッションアドバンス工事にも率先して取り組んだ。その上、若手職員を配置しインターンシップ生を受け入れを行うことで、建設業界の技術継承にも貢献した。



施工中



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
現場への出入り口が一つしかなく、狭い場所での施工により工種切替え時の動線の確保、重機手配、協力業者への調整に苦慮した。また、騒音に対する配慮が必要でした。
- ◇ 特に工夫した点
近隣住民から工事の理解を得るために、より住居環境に近い屋上で騒音調査を実施した。こまめに業者間の連絡調整を行いながら、ロスのない作業を行った。
低炭素（中温化）アスファルト混合物を使用し、CO₂削減に取り組んだ。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
騒音による苦情対処に苦労しましたが、事故なく工期内に工事を完了したこと。また、ICT施工や遠隔臨場、HTTの取組、新技術の活用を率先して行ったこと。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
インフラ整備への責任感、物を作ることへの醍醐味、協力業者と共に現場を完了したときの達成感を伝えたい。



安全通路及びU字溝切断状況